

千葉県三番瀬再生計画（第3次事業計画）実施状況

平成27年8月

千葉県

目 次

第1節	干潟・浅海域	
1	干潟的環境（干出域等）の形成等	1
2	行徳湿地の保全と利用<後掲第2節>	
第2節	生態系・鳥類	
1	行徳湿地の保全と利用	2
2	自然再生（湿地再生）事業<後掲第5節>	
3	干潟的環境（干出域等）の形成等<再掲第1節>	
4	三番瀬の自然環境の調査	3
5	ノリ養殖業・貝類漁業対策<後掲第3節>	
6	三番瀬自然環境調査に対する支援<後掲第9節>	
7	三番瀬自然環境データベースの更新<後掲第9節>	
8	生物多様性の回復のための目標生物種の選定	4
第3節	漁業	
1	豊かな漁場への改善の取組	5
2	ノリ養殖業・貝類漁業対策	6
3	漁業者と消費者を結ぶ取組の推進	8
第4節	水・底質環境	
1	行徳湿地の保全と利用<再掲第2節>	
2	自然再生（湿地再生）事業<後掲第5節>	
3	海老川流域の健全な水循環系の再生	9
4	真間川流域の健全な水循環系の再生	10
5	干潟的環境（干出域等）の形成等<再掲第1節>	
6	合併処理浄化槽の普及	11
7	産業排水対策	12
8	流域県民に対する啓発	13
9	下水道の整備	14
10	青潮関連情報発信事業	15
11	貧酸素水塊情報の高度化	16

第5節	海と陸との連続性・護岸	
1	市川市塩浜護岸改修事業	17
2	護岸の安全確保の取組	18
3	自然再生（湿地再生）事業	19
4	干潟的環境（干出域等）の形成等<再掲第1節>	
第6節	三番瀬を活かしたまちづくり	
1	三番瀬を活かしたまちづくりの促進	20
2	市川市塩浜護岸改修事業<再掲第5節>	
3	自然再生（湿地再生）事業<再掲第5節>	
第7節	海や浜辺の利用	
1	干潟的環境（干出域等）の形成等<再掲第1節>	
2	市川市塩浜護岸改修事業<再掲第5節>	
3	自然再生（湿地再生）事業<再掲第5節>	
4	三番瀬を活かしたまちづくりの促進<再掲第6節>	
5	ルールづくりの取組	21
第8節	環境学習・教育	
1	環境学習・教育事業	22
2	ビオトープネットワークの強化	23
第9節	維持・管理	
1	三番瀬再生・保全活動の支援	24
2	三番瀬自然環境データベースの更新	25
3	三番瀬自然環境調査に対する支援	26
4	三番瀬の自然環境の調査<再掲第2節>	
5	ビオトープネットワークの強化<再掲第8節>	
6	国、関係自治体の広域的な取組<後掲第12節>	
第10節	再生・保全・利用のための制度及びラムサール条約への登録促進	
1	三番瀬の再生・保全・利用のための条例の制定	27
2	ラムサール条約への登録促進	28
第11節	広報	
1	三番瀬に関する広報	29
2	三番瀬再生・保全活動の支援<再掲第9節>	
第12節	東京湾の再生につながる広域的な取組	
1	国、関係自治体の広域的な取組	30

千葉県三番瀬再生計画（第3次事業計画）【計画期間：平成26～28年度】事業票

第1節 干潟・浅海域

事業名	事業内容			担当課	
1 干潟的環境（干出域等）の形成等 （県予算上の事業名：干潟的環境形成検討事業）	計画内容	三番瀬は、埋立てによる後背湿地の消失や干潟の減少等により、自然環境の単調化が進んでおり、また、人と海とのふれあいも限られたものとなっています。 このことから、干潟的環境（干出域等）の形成により、海と陸との自然の連続的なつながりを回復させ、環境の多様化を進めるとともに、人が海と親しめる場所や機会を確保することが求められています。 このため、市川市塩浜2丁目の護岸前面における干潟的環境の形成について、三番瀬の再生における位置付けや役割を踏まえながら、これまで実施してきた試験の成果等の活用により、自然条件、制約条件等を整理し、方向性を取りまとめるとともに、市川市と事業の進め方や技術的な課題等について協議し、検討していきます。			環境生活部 環境政策課
【事業計画における3か年の目標】 ・干潟的環境（干出域等）の形成検討	予算（千円）	H26 予算	H27 予算	H28 予算	
		9,960	—		
	決算（千円）	H26 決算	H27 決算	H28 決算	
		7,217			
	H26 実施結果	・環境の多様化が図られ、かつ親水機能を有する干潟的環境（干出域）を市川市塩浜2丁目地先において形成した場合の効果や課題を明らかにし、今後の方向性を検討するための基礎資料を作成しました。			
今後の予定	・検討結果等を踏まえ、引き続き市川市と協議を行っていきます。				

千葉県三番瀬再生計画（第3次事業計画）【計画期間：平成26～28年度】事業票

第2節 生態系・鳥類

事業名	事業内容				担当課
1 行徳湿地の保全と利用 (県予算上の事業名：行徳湿地保全事業)	計画内容	<p>行徳湿地は、三番瀬の後背湿地の機能を有する汽水域の場所であるとともに水鳥等の野鳥やトビハゼ等、多くの生物が生息する都市部に残された貴重な自然となっています。</p> <p>このため、行徳湿地への淡水供給等、湿地環境の維持管理を継続して実施します。</p> <p>また、行徳内陸性湿地再整備検討協議会が検討を行った「行徳湿地の将来像」の内容を踏まえ、NPO、市川市など関係者と連携して、自然環境の保全に配慮しながら自然観察の場としての利用の促進に取り組みます。</p> <p>取組に当たっては、学識経験者、関係者等が参加する意見交換会の活用を図りながら進めていきます。</p>			環境生活部 自然保護課
【事業計画における3か年の目標】 ・湿地環境の維持と利用の促進	予算(千円)※	H26 予算	H27 予算	H28 予算	
		6,694	7,014		
	決算(千円)※	H26 決算	H27 決算	H28 決算	
		6,524			
	H26 実施結果	<p>・湿地環境の悪化を防止するために、淡水導入の管理、管理区域内の自然環境の保全活動などの維持管理を行いました。</p>			
	今後の予定	<p>・引き続き、湿地環境の悪化を防止するための維持管理を行うとともに、環境・体験学習と人材育成のためのプログラムの作成など「行徳湿地の将来像」の優先すべき項目に取り組みます。</p>			

千葉県三番瀬再生計画（第3次事業計画）【計画期間：平成26～28年度】事業票

第2節 生態系・鳥類

事業名	事業内容				担当課
4 三番瀬の自然環境の調査 (県予算上の事業名：三番瀬自然環境再生推進事業)	計画内容	平成22年度に実施した三番瀬自然環境総合解析結果を踏まえ、中長期の変動を含めた三番瀬の生態系を引き続き把握するため、前事業計画に引き続き、生物とそれを取り巻く環境に関して、必要な調査を実施します。 (参考) 主な調査 1 環境条件 地質・水質・流況 2 生物 底生生物・魚類・鳥類の生息状況			環境生活部 自然保護課
【事業計画における3か年の目標】 ・三番瀬の自然環境の把握	予算(千円)※	H26 予算	H27 予算	H28 予算	
		19,157	18,157		
	決算(千円)※	H26 決算	H27 決算	H28 決算	
		16,435			
	H26 実施結果	・三番瀬の自然環境の調査として、「三番瀬鳥類個体数経年調査」と「底生生物及び海域環境調査」を実施しました。			
今後の予定	・三番瀬の自然環境の調査計画に従い、専門家の助言を得て、調査を実施していきます。				

千葉県三番瀬再生計画（第3次事業計画）【計画期間：平成26～28年度】事業票

第2節 生態系・鳥類

事業名	事業内容			担当課	
8 生物多様性の回復のための目標生物種の選定	計画内容	<p>生物多様性の回復の度合いを県民に分かりやすく示すため、回復の目安となる生物種（目標生物種）の選定を行うことが必要です。</p> <p>このため、三番瀬再生会議で取りまとめた三番瀬再生グランドデザインを踏まえながら、関係者の合意のもとに目標生物種の選定を進め、具体的な再生事業の検討における重要な要素の一つとして取り扱われるよう情報の共有を図っていきます。</p>			環境生活部 自然保護課
【事業計画における3か年の目標】 ・かつての生物多様性の回復のための目標生物種の選定	予算（千円）※	H26 予算	H27 予算	H28 予算	
		-	-		
	決算（千円）※	H26 決算	H27 決算	H28 決算	
		-			
	H26 実施結果	・目標生物種の候補の現況について整理しました。			
今後の予定	・引き続き、目標生物種の候補の選定を進めます。				

千葉県三番瀬再生計画（第3次事業計画）【計画期間：平成26～28年度】事業票

第3節 漁業

事業名	事業内容				担当課
1 豊かな漁場への改善の取組 （県予算上の事業名：東京湾北部浅海漁場再生支援事業、貧酸素水塊漁業被害防止対策事業）	計画内容	三番瀬漁場の生産力の回復を図るため、平成23～24年度に実施した漁場改善事業の効果を検証し、今後の効果的な事業展開を図る必要があります。 また、三番瀬漁場の生産力を維持・向上させるためには、定期的な漁場のモニタリングや漁場環境保全の取組が重要です。 このため、モニタリング調査を継続し、漁場改善効果を把握するとともに、順応的管理の考え方にに基づき、漁協、地元市及び県が協力して漁場改善に取り組めます。 また、干潟漁場のモニタリング、貝類等を捕食するヒトデやツメタガイの除去、貝類の発生を促す覆砂や海底耕うんなど、漁業者グループによる多様な干潟漁場保全活動の取組を支援し、良好な干潟漁場環境づくりを推進します。			農林水産部水産局 漁業資源課
【事業計画における3か年の目標】 ・漁場改善効果の検証と漁業者グループ・漁協・地元市及び県との協力による漁場改善の推進	予算（千円）※	H26 予算	H27 予算	H28 予算	
		2,059	2,067		
	決算（千円）※	H26 決算	H27 決算	H28 決算	
	H26 実施結果	・平成23～24年度に実施した覆砂場所について漁業者と連携したモニタリング（底質調査、生物調査）を実施するとともに、三番瀬漁場再生事業連絡協議会の運営についても支援し、漁場再生事業の計画的かつ効率的な推進を図りました。 ・また、漁業者グループが行った干潟保全活動（覆砂、海底耕うん、害敵生物の駆除等）を支援しました。			
今後の予定	・引き続き、モニタリング調査を実施するとともに、漁業者グループが行う干潟保全活動を支援するなどし、漁業者、地元市と協力しながら漁場改善に取り組めます。				

千葉県三番瀬再生計画（第3次事業計画）【計画期間：平成26～28年度】事業票

第3節 漁業

事業名	事業内容			担当課	
2 ノリ養殖業・貝類漁業対策 （県予算上の事業名：東京湾漁業緊急増産対策事業、東京湾北部浅海漁場再生支援事業）	計画内容	三番瀬漁場のノリ養殖は、漁場環境が不安定で、疾病が多く発生するなど、厳しい生産状況に置かれています。これまで、漁場特性や海況変化をきめ細かく調べ、適切な養殖管理技術の向上に取り組んできており、今後は技術の普及を図る必要があります。 また、三番瀬の貝類漁業は、アサリの冬季減耗や青潮の発生による大量死亡等により、長年にわたり低迷しており、その対策が求められています。 このため、これまでの調査で得られた三番瀬漁場に関する知見や既存のモニタリングポストのデータを活用して、適切な情報提供と技術指導等を行い、漁場特性や環境変化に対応したノリ養殖管理の実践に取り組みます。 また、アサリの減耗対策として網袋による稚貝育成技術の開発を行います。ホンビノスガイについては、モニタリングにより資源状況を把握し有効利用を推進していきます。ハマグリ種苗の育成技術開発に取り組んでいきます。			農林水産部水産局 漁業資源課
【事業計画における3か年の目標】 ・漁場特性や環境変化に対応したノリ養殖管理の実践と二枚貝の増産対策の推進	予算（千円）※	H26 予算	H27 予算	H28 予算	
		5,101	4,414		
	決算（千円）※	H26 決算	H27 決算	H28 決算	
		4,953			
H26 実施結果	・ノリ養殖業については、過去の調査結果に基づいた指導を行うとともに、育苗期における高水温耐性品種等の選定・開発により、漁場特性や環境変化に対応したノリ養殖管理の実践に取り組みました。 ・貝類漁業については、網袋によるアサリ稚貝育成実証試験を実施し、冬期波浪による減耗対策を検討しました。また、ホンビノスガイ等の資源状況（数、大きさ等）のモニタリング調査を実施するとともに、ハマグリ種苗の着底期以降の安定的・効率的な育成技術開発に取り組みました。				

事業名	事業内容		担当課
	今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、ノリ養殖については、漁場特性等に対応した養殖管理の実践に取り組めます。また、貝類漁業については、アサリの減耗対策やハマグリ種苗の育成技術開発に取り組めます。 	

※東京内湾全域を対象

千葉県三番瀬再生計画（第3次事業計画）【計画期間：平成26～28年度】事業票

第3節 漁業

事業名	事業内容				担当課
3 漁業者と消費者を結ぶ取組の推進 （県予算上の事業名：水産物販売流通消費総合対策事業）	計画内容	三番瀬の漁業を活性化させるため、漁業への幅広い県民の理解が必要です。このため、県下全域の取組との整合を図りつつ、漁業者と消費者との結びつきを深める三番瀬の漁業に関する取組を推進します。			農林水産部 水産局水産課
【事業計画における3か年の目標】 ・漁業者と消費者を結ぶ地産地消などの取組推進による、漁業の活性化	予算（千円）※	H26 予算	H27 予算	H28 予算	
		4,552	4,484		
	決算（千円）※	H26 決算	H27 決算	H28 予算	
		3,585			
	H26 実施結果	・平成25年度同様、漁業に対する県民の理解を得るための以下の取組を継続しています。 ○各種パンフレット等の配布、ホームページ「千葉さかな倶楽部」の運営、県産水産物の販売促進のための取組・PRイベント出展への支援、魚食普及の促進 ○「千葉ブランド水産物」への認定に向けた取組への支援、認定後の認知度拡大のための取組への支援			
今後の予定	・今後も、県下全域における取組との整合を図りつつ、地産地消やブランドづくりに向けた取組等、漁業者による三番瀬の漁業に関わる様々な情報発信を支援し、消費者との結びつきを深めていきます。 ・三番瀬の新たな水産資源「ホンビノスガイ」の普及に向けたレシピについて、更なる普及・利用促進を図るため、引き続き「千葉さかな倶楽部」等を通じた紹介を行います。				

※全县を対象

千葉県三番瀬再生計画（第3次事業計画）【計画期間：平成26～28年度】事業票

第4節 水・底質環境

事業名	事業内容				担当課
3 海老川流域の健全な水循環系の再生 （県予算上の事業名：都市河川再生対策事業（海老川））	計画内容	水と陸とのつながりを踏まえた三番瀬の水環境の回復を図るためには、三番瀬に流入する河川の水環境を再生することが必要です。 このため、海老川及びその流域について、河川流量の増加のための雨水浸透施設設置の啓発に努め雨水浸透対策を促進するほか、緑地の保全などの諸対策を含めた、海老川の健全な水循環系再生のための「海老川流域水循環系再生第三次行動計画」の総合的な施策を促進します。			県土整備部 河川環境課
【事業計画における3か年の目標】 ・海老川流域の健全な水循環系の再生のための総合的な施策の促進	予算（千円）※	H26 予算	H27 予算	H28 予算	
		11,000	11,000		
	決算（千円）※	H26 決算	H27 決算	H28 決算	
		12,428			
H26 実施結果	・「海老川流域水循環系再生第三次行動計画」の進捗状況の確認や、同計画に基づく総合的な施策の促進のため、平成26年7月15日に海老川流域水循環系再生推進協議会を開催しました。 ・公民館や環境イベントで海老川水循環再生に係る啓発ポスターを展示しました。また、海老川流域で開催される海老川市民親水まつり等でパンフレット等の配布を行いました。				
今後の予定	・引き続き、行動計画に基づき総合的な施策を促進します。				

※海老川流域を対象

千葉県三番瀬再生計画（第3次事業計画）【計画期間：平成26～28年度】事業票

第4節 水・底質環境

事業名	事業内容				担当課
4 真間川流域の健全な水循環系の再生	計画内容	<p>水と陸とのつながりを踏まえた三番瀬の水環境の回復を図るためには、三番瀬に流入する河川の水環境を再生することが必要です。</p> <p>このため、真間川及びその流域について、河川流量の増加のための雨水浸透施設設置の啓発に努め雨水浸透対策を促進するほか、緑地の保全などの諸対策を含めた、真間川の健全な水循環系の再生のための「真間川流域水循環系再生行動計画」の総合的な施策を促進します。</p>			県土整備部 河川環境課
【事業計画における3か年の目標】 ・真間川流域の健全な水循環系の再生のため総合的な施策の促進	予算（千円）※	H26 予算	H27 予算	H28 予算	
		—	—		
	決算（千円）※	H26 決算	H27 決算	H28 決算	
		—			
	H26 実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・真間川流域において、地下水位及び湧水量を調査しました。 ・真間川流域水循環系再生行動計画の進捗状況の確認や、同計画に基づく総合的な施策の促進のため、平成27年1月16日に真間川地域懇談会を開催しました。 			
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・真間川流域水循環系再生行動計画に基づき、各施策の進捗状況を把握しながら対策の一層の促進を図ります。 				

第4節 水・底質環境

事業名	事業内容				担当課
6 合併処理浄化槽の普及 (県予算上の事業名：生活排水対策浄化槽推進事業)	計画内容	<p>生活排水等からの汚濁負荷量を削減するため、単独処理浄化槽や汲み取り便槽から合併処理浄化槽への転換、及び窒素・りん処理可能な高度処理型浄化槽の一層の普及促進等を図る必要があります。</p> <p>このため、合併処理浄化槽への転換の促進に重点を置くとともに、より高性能な浄化槽の普及が図られるよう、市が実施する浄化槽の設置促進事業に対する助成を行います。</p>			環境生活部 水質保全課
【事業計画における3か年の目標】 ・東京湾総量削減計画の推進による、東京湾に流入する化学的酸素要求量(COD)、窒素、りんの負荷量の削減	予算(千円)※	H26 予算	H27 予算	H28 予算	
		300,000	300,000		
	決算(千円)※	H26 決算	H27 決算	H28 決算	
		201,534			
	H26 実施結果	<p>・市町村が行う合併処理浄化槽設置促進事業に対し、補助金の交付を行いました。</p> <p>『H26 助成実績：設置補助 1,123 基（転換補助 856 基）』</p>			
今後の予定	<p>・引き続き、市が実施する浄化槽の設置促進事業に対する助成を行うことなどにより、単独処理浄化槽や汲み取り便槽から合併処理浄化槽への転換、高度処理型浄化槽の普及促進等を図ります。</p>				

※全県を対象

千葉県三番瀬再生計画（第3次事業計画）【計画期間：平成26～28年度】事業票

第4節 水・底質環境

事業名	事業内容				担当課
7 産業排水対策 (県予算上の事業名：特定事業場等排水監視事業)	計画内容	<p>東京湾総量削減計画に基づく水質総量規制等により、産業排水からの汚濁負荷量を削減する必要があります。</p> <p>この水質総量規制により、段階的に汚濁負荷量を削減するとともに、関連事業場に対して汚濁防止の徹底を求め、事業場への立入検査等により規制基準の遵守状況を把握し、必要に応じて処理施設の改善、設置等の指導を行います。</p>			環境生活部 水質保全課
【事業計画における3か年の目標】 ・東京湾総量削減計画の推進による、東京湾に流入する化学的酸素要求量(COD)、窒素、リンの負荷量の削減	予算(千円)※	H26 予算	H27 予算	H28 予算	
		21,462	23,513		
	決算(千円)※	H26 決算	H27 決算	H28 決算	
		15,185			
	H26 実施結果	<p>・水質汚濁防止法における特定施設の設置事業場に対する立入検査を行い、工場・事業場排水の汚濁物質の削減対策に努めました。</p> <p>『H26 延立入検査数：936件（採水等立入 759件、構造立入 177件）』</p>			
今後の予定	<p>・引き続き、特定事業場の立入検査による排水監視を行うとともに、適切な対策を指導して水質汚濁の防止に努めます。</p>				

※全県（政令市を除く）を対象

千葉県三番瀬再生計画（第3次事業計画）【計画期間：平成26～28年度】事業票

第4節 水・底質環境

事業名	事業内容				担当課
8 流域県民に対する啓発 (県予算上の事業名：東京湾の総量削減対策事業)	計画内容	<p>河川及び東京湾の水質改善について、広く流域の住民や飲食店等の小規模事業者を対象として啓発活動を行い、生活排水及び産業排水に係る対策の自主的な取組の普及促進を図る必要があります。</p> <p>このため、リーフレット、ホームページなどの各種媒体を用いて広報・啓発活動を行います。</p>			環境生活部 水質保全課
【事業計画における3か年の目標】 ・東京湾総量削減計画の推進による、東京湾に流入する化学的酸素要求量(COD)、窒素、リンの負荷量の削減	予算(千円)※	H26 予算	H27 予算	H28 予算	
		2,430	2,424		
	決算(千円)※	H26 決算	H27 決算	H28 決算	
		2,160			
	H26 実施結果	<p>・幕張メッセで開催された「エコメッセ in ちば 2014」に出展し(来場者数：約12,000人)、「東京湾のいきもの展示」や「貝類による水質浄化実験」等を行うことによって、子どもたちを含む県民の方の水質改善に対する意識の高揚を図りました。</p>			
今後の予定	<p>・引き続き、環境関連イベント等で広報啓発活動を行い、生活排水や産業排水に係る自主的な取組の促進を図ります。</p>				

※全县を対象

第4節 水・底質環境

事業名	事業内容				担当課
9 下水道の整備 (県予算上の事業名：江戸川左岸流域下水道事業)	計画内容	河川及び東京湾へ流入する生活排水等の汚濁負荷量を削減するため、下水道の整備、普及により、未処理の生活排水等が三番瀬を含む東京湾に流入することを防ぐ必要があります。 このため、関連市の実施する公共下水道の整備と連携を図りながら、計画的な施設整備に取り組みます。			県土整備部 都市整備局 下水道課
【事業計画における3か年の目標】 ・江戸川左岸流域下水道整備の推進	予算(千円)※	H26 予算	H27 予算	H28 予算	
		8,611,227	9,803,508		
	決算(千円)※	H26 決算	H27 決算	H28 決算	
		6,082,659			
	H26 実施結果	・松戸幹線、市川幹線及び江戸川第一終末処理場の水処理第一系列の工事を実施しました。			
今後の予定	・引き続き、松戸幹線、市川幹線及び江戸川第一終末処理場の水処理第一系列等の工事を実施します。 ・江戸川第一終末処理場の流入施設となる江戸川幹線の工事を実施します。				

※東京湾を対象

第4節 水・底質環境

事業名	事業内容				担当課
10 青潮関連情報発信事業	計画内容	<p>春から秋に東京湾で発生する「青潮」は、三番瀬の水生生物の生息に大きな影響があることから、青潮発生時には状況を的確に把握し、情報提供していく必要があります。</p> <p>このため、東京湾に青潮が発生した場合に、水質調査等を実施して範囲や程度を確認し、迅速に関係機関に情報提供を行います。</p>			環境生活部 水質保全課
【事業計画における3か年の目標】 ・青潮発生状況の情報発信	予算（千円）※	H26 予算	H27 予算	H28 予算	
		-	-		
	決算（千円）※	H26 決算	H27 決算	H28 決算	
		-			
H26 実施結果	<p>・26年度は、6月6日～6月10日(千葉中央港～市川港沖)、8月27日～9月3日(千葉中央港及び花見川河口沖～市川港沖)の2回青潮の発生を確認し、県漁業資源課、海上保安庁等の関係機関に情報提供を行いました。</p>				
今後の予定	<p>・今後とも青潮発生時には水質調査等を実施して、範囲や程度を確認する等により、状況を的確に把握し、迅速に関係機関に情報提供を行っていきます。</p>				

※東京湾全体を対象

第4節 水・底質環境

事業名	事業内容				担当課
1 1 貧酸素水塊情報の高度化 (県予算上の事業名：貧酸素水塊漁業被害防止対策事業)	計画内容	<p>貧酸素水塊による漁業への影響を軽減するためには、的確な貧酸素水塊情報を共有し、さらに、その対策を進めていく必要があります。</p> <p>このため、漁業者と共同調査を継続し、貧酸素水塊の沿岸浅海域への波及予測システムを運用して高精度な情報を提供するとともに、東京湾調査・指導船「ふさなみ」を運航して貧酸素水塊が水生生物の消長に与える影響を調査し、影響の少ない漁場の有効利用を推進します。</p>			農林水産部水産局 漁業資源課
【事業計画における3か年の目標】 ・高精度な貧酸素水塊情報の提供と浅海域漁場の有効利用の推進	予算(千円)※	H26 予算	H27 予算	H28 予算	
		4,807	4,769		
	決算(千円)※	H26 決算	H27 決算	H28 決算	
		4,694			
	H26 実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・貧酸素水塊分布予測システムを運用し、高精度な情報を提供しました。 ・東京湾調査・指導船「ふさなみ」を運航して、貧酸素水塊の影響調査を実施しました。 ・また、貧酸素水塊分布予測システムの有効活用による漁場特性の総合的な検討のため、底質分析結果等から底生生物の生息可能水域を推定し図化するGISシステムを開発しました。 			
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、漁業者と共同して観測を実施し、沿岸浅海域を含めた高精度の貧酸素水塊状況を提供していきます。 ・また、青潮被害軽減シミュレーションシステムの開発に着手するなど、具体的な貧酸素水塊対策として想定される漁場環境改善手法やその実施時に必要となる指標の検討に取り組みます。 				

※東京内湾全域を対象

第5節 海と陸との連続性・護岸

事業名	事業内容			担当課	
1 市川市塩浜護岸改修事業 (県予算上の事業名：海岸基盤整備事業(市川海岸))	計画内容	塩浜2丁目護岸は、これまでに、老朽化の著しい900m区間の護岸改修を先行して整備を進め、平成25年度に完了しました。引き続き、残りの200m区間について、背後地のまちづくり計画、海と陸との自然な連続性に配慮に配慮しつつ、地域住民の利用や生態系に配慮した高潮防護の護岸改修を行います。 なお、塩浜3丁目護岸については、2丁目護岸改修後、改修を行う予定です。			県土整備部 河川整備課
【事業計画における3か年の目標】 ・市川市塩浜護岸について、安全かつ生態系に配慮した護岸改修の推進	予算(千円)	H26 予算	H27 予算	H28 予算	
		140,855	145,855		
	決算(千円)	H26 決算	H27 決算	H28 決算	
		66,605			
H26 実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・背後地の土地所有者である市川市や護岸整備懇談会等の意見を踏まえて、護岸の位置や構造を決定しました。 ・地形、底質、生物等に係るモニタリング調査を実施しました。 ・200m区間の護岸改修による環境影響を評価するため、検証基準を作成しました。 				
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・安全かつ生態系に配慮した護岸改修に着手します。 ・護岸改修と並行して生物等のモニタリング調査を実施し、改修に伴う自然環境への影響を評価していきます。 				

千葉県三番瀬再生計画（第3次事業計画）【計画期間：平成26～28年度】事業票

第5節 海と陸との連続性・護岸

事業名	事業内容				担当課
2 護岸の安全確保の取組	計画内容	護岸改修計画のある区域以外においても、県民の生命・財産を守るために護岸の安全性を確保することが重要です。 そのため、三番瀬において県が管理する護岸を適切に維持管理します。			県土整備部 河川環境課 港湾課
【事業計画における3か年の目標】 ・護岸の安全確保に向けた具体的な取組の実施	予算（千円）※	H26 予算	H27 予算	H28 予算	
	決算（千円）※	H26 決算	H27 決算	H28 決算	
	H26 実施結果	・三番瀬における海岸保全区域内の護岸を巡視・点検する等、適切に維持管理しました。			
	今後の予定	・三番瀬における海岸保全区域内の護岸を巡視・点検する等、適切に維持管理します。			

千葉県三番瀬再生計画（第3次事業計画）【計画期間：平成26～28年度】事業票

第5節 海と陸との連続性・護岸

事業名	事業内容				担当課
3 自然再生（湿地再生）事業	計画内容	<p>三番瀬では、海と陸との自然な連続性の回復や、人が三番瀬とふれあい・学ぶ場として、湿地の復元等、自然再生の実現を図ることが求められています。</p> <p>塩浜2丁目における自然再生（湿地再生）については、課題を整理するとともに、市川市塩浜護岸改修事業や市川市のまちづくり、市民が海と親しむための場の計画等と調整を図っていきます。</p>			環境生活部 環境政策課
【事業計画における3か年の目標】 ・自然再生（湿地再生）の実現に向けた取組	予算（千円）	H26 予算	H27 予算	H28 予算	
		-	-		
	決算（千円）	H26 決算	H27 決算	H28 決算	
		-			
H26 実施結果	<p>・平成26年3月に市川市が「塩浜地区まちづくり基本計画」の見直しを行い、従来、「人が三番瀬とふれあい・学ぶ場」として、湿地の復元等、自然再生の実現を図ることを計画していた土地は、当該用途として利用されないこととなりました。</p>				
今後の予定	<p>・引き続き、市川市と協議を行っていきます。</p>				

第6節 三番瀬を活かしたまちづくり

事業名	事業内容				担当課
1 三番瀬を活かしたまちづくりの促進	計画内容	<p>三番瀬周辺区域においては、三番瀬の再生・保全や景観等に配慮した、三番瀬にふさわしいまちづくりを進めていくことが必要です。</p> <p>このため、まちづくりの主体である地元市との情報交換会等を通じ、必要に応じ助言を行う等、三番瀬を活かしたまちづくりを支援していきます。</p>			環境生活部 環境政策課 県土整備部 関係各課
【事業計画における3か年の目標】 ・三番瀬周辺区域におけるまちづくりに対する支援	予算（千円）	H26 予算	H27 予算	H28 予算	
		—	—		
	決算（千円）	H26 決算	H27 決算	H28 決算	
		—			
H26 実施結果	<p>・平成26年度は、三番瀬周辺区域におけるまちづくりに関して、具体的な事業実施の進展がなかったことから、特に助言を行った事項はありませんでしたが、地元市との情報交換会等を通じ、情報共有を図りました。</p>				
今後の予定	<p>・まちづくりの主体である地元市との情報交換会等を通じ、必要に応じて助言を行う等、三番瀬を活かしたまちづくりを支援します。</p>				

第7節 海や浜辺の利用

事業名	事業内容				担当課
5 ルールづくりの取組	計画内容	<p>将来にわたって人と自然がふれあい、海の恵みを育む三番瀬であるためには、生態系や持続可能な漁業に配慮した、賢明な利用に向けたルールづくりが重要です。</p> <p>このため、関係機関と意見交換を行いながら、三番瀬の利用に係る施設等の情報を収集するとともに、必要に応じて、当該施設周辺の海や浜辺の利用に係るルールづくりの調整等を行います。</p>			環境生活部 環境政策課
【事業計画における3か年の目標】 ・三番瀬の海や浜辺の賢明な利用に向けた調整等	予算（千円）	H26 予算	H27 予算	H28 予算	
		—	—		
	決算（千円）	H26 決算	H27 決算	H28 決算	
		—			
	H26 実施結果	<p>・関係機関から三番瀬の利用に係る施設等の情報を収集しましたが、特段ルール作りが必要な情報はありませんでした。</p>			
今後の予定	<p>・引き続き、関係機関と意見交換を行いながら、三番瀬の利用に係る施設等の情報を収集するとともに、必要に応じて、漁業者、地域住民、利用者等の参加のもとで、利用形態に応じた新たなルールづくりのための調整等を行います。</p>				

第8節 環境学習・教育

事業名	事業内容				担当課
<p>1 環境学習・教育事業 (県予算上の事業名：H26 環境学習基本方針推進事業、県民環境講座、情報啓発事業、エコスクールちばコンテスト、H27 環境保全活動支援事業、環境教育推進事業)</p>	<p>計画内容</p>	<p>地球温暖化や生物多様性といった環境問題の改善や三番瀬再生への関心を高めるには、県民一人ひとりが環境に対する意識を持ち、ライフスタイルを見直すことが必要であることから、その取組として環境学習を推進します。</p> <p>このため、千葉県環境学習基本方針に基づき、県民、学校、事業者、行政など環境学習を推進する各主体が連携して、環境学習を行う体制を整備し、以下の取組を進めます。</p> <p>(1) 千葉県環境学習基本方針の見直し (2) 環境学習を担う人材育成のシステムづくり (3) 環境学習のための場の提供</p> <p>また、千葉県学校版環境マネジメントシステムに基づき、学校、地域の実態を生かした環境教育を推進します。</p>			<p>環境生活部 H26 環境政策課 H27 循環型社会推進課 教育庁 教育振興部 指導課 文化財課</p>
<p>【事業計画における3か年の目標】 ・環境学習・教育の実施</p>	<p>予算(千円)※</p>	<p>H26 予算 12,774</p>	<p>H27 予算 11,792</p>	<p>H28 予算</p>	
	<p>決算(千円)※</p>	<p>H26 決算 6,794</p>	<p>H27 決算</p>	<p>H28 決算</p>	
	<p>H26 実施結果</p>	<p>・環境学習の指導者を養成するための講座を開催し、環境学習を担う人材育成のシステムづくりに取り組みました。</p> <p>・千葉県学校版環境マネジメントシステムを活用し、環境教育の推進を目指すための「エコスクールちばコンテスト」を開催し、中央博物館では、環境に関連するイベントやシンポジウムを開催しました。また、環境に関する観察会や公開講座を実施しました。</p>			
	<p>今後の予定</p>	<p>・エコスクール活動の重要性が千葉県内に広く伝わったことから、エコスクールちばコンテストは平成26年度で終了することとしました。</p> <p>・それ以外の事業については、平成27年度以降も継続して実施します。</p> <p>・環境学習基本方針の見直しに向けて検討します。</p>			

※全县を対象

第8節 環境学習・教育

事業名	事業内容				担当課
2 ビオトープネットワークの強化	計画内容	<p>三番瀬の再生には、流域を含めた住民の活動が必要であり、水循環や生物・生態系を通じて三番瀬を身近に感ずる体験型の環境学習が必要です。</p> <p>このため、三番瀬流入河川流域4市の学校や公園等について、ビオトープの普及啓発やビオトープ設置者間の情報交換を進めます。</p>			環境生活部 自然保護課
【事業計画における3か年の目標】 ・学校や公園等を中心としたビオトープネットワークの強化	予算（千円）※	H26 予算	H27 予算	H28 予算	
	決算（千円）※	H26 決算	H27 決算	H28 決算	
	H26 実施結果	・市川市でビオトープシンポジウムを開催しました。			
	今後の予定	・引き続き、ビオトープ設置者間の情報交換を進めます。			

第9節 維持・管理

事業名	事業内容				担当課
1 三番瀬再生・保全活動の支援	計画内容	<p>三番瀬の再生・保全には息の長い取組が必要であり、関係市や地域住民により行われるクリーンアップ等の維持管理活動をはじめとする保全活動や再生のための事業により多くの地域住民・県民が参加して取り組んでいくことが必要です。</p> <p>このため、市民活動団体が実施する、三番瀬の再生・保全にかかる活動を支援します。</p>			環境生活部 環境政策課
【事業計画における3か年の目標】 ・三番瀬再生・保全にかかる市民活動の支援	予算（千円）	H26 予算	H27 予算	H28 予算	
		—	—		
	決算（千円）	H26 決算	H27 決算	H28 決算	
		—			
	H26 実施結果	<p>・日の出階段護岸のごみを拾う浦安三番瀬クリーンアップ大作戦を後援しました。</p>			
今後の予定	<p>・三番瀬において地元市や地域住民等によって行われているクリーンアップ活動等の維持・管理活動を引き続き支援していきます。</p>				

千葉県三番瀬再生計画（第3次事業計画）【計画期間：平成26～28年度】事業票

第9節 維持・管理

事業名	事業内容				担当課
2 三番瀬自然環境データベースの更新 （県予算上の事業名：三番瀬自然環境再生推進事業）	計画内容	三番瀬の再生に当たっては、三番瀬の環境の現況や推移を的確に把握するとともに、再生事業の実施に係る順応的な管理を行う必要があります。 このため、逐次、自然環境に関する調査結果データの追加を行うなど更新作業を行います。 データベースの活用により、三番瀬の自然環境に関する評価や再生事業に係る順応的な管理の検討を効率的に行うことができます。			環境生活部 自然保護課
【事業計画における3か年の目標】 ・自然環境データベースの更新	予算（千円）※	H26 予算	H27 予算	H28 予算	
		843	843		
	決算（千円）※	H26 決算	H27 決算	H28 決算	
		809			
	H26 実施結果	・平成25年度三番瀬鳥類個体数経年調査結果をデータベースに取り込みました。			
今後の予定	・引き続き、三番瀬自然環境データベースの更新を行います。				

第9節 維持・管理

事業名	事業内容				担当課
3 三番瀬自然環境調査に対する支援	計画内容	三番瀬の再生には、多くの県民がいろいろな形で参加できる必要があります。このため、自然環境調査を主体的に実施するNPOなどに対し、モニタリングマニュアルを提供し、調査器具（底生生物調査用器具一式）を貸し出すこと等により、県民の三番瀬の自然環境への理解がより深まるよう支援します。			環境生活部 自然保護課
【事業計画における3か年の目標】 ・県民参加による自然環境調査の支援	予算（千円）※	H26 予算	H27 予算	H28 予算	
		—	—		
	決算（千円）※	H26 決算	H27 決算	H28 決算	
		—			
H26 実施結果	・三番瀬自然環境調査支援事業についてのお知らせを千葉県自然保護課のホームページ上に掲載しました。 ○支援対象 自然環境調査を主体的に実施するNPOなど ○支援内容 調査器具の貸し出し、モニタリングマニュアルの提供				
今後の予定	・引き続き、三番瀬自然環境調査支援事業を継続し、県民の三番瀬の自然環境への理解がより深まるよう支援していきます。				

第10節 再生・保全・利用のための制度及びラムサール条約への登録促進

事業名	事業内容				担当課
1 三番瀬の再生・保全・利用のための条例の制定	計画内容	<p>三番瀬について、「東京湾の奥部に残された貴重な干潟・浅海域であり、自然環境の再生・保全と地域住民が親しめる海の再生を図ることが重要である」との認識は、県民、地域住民、漁業関係者、環境保護団体、専門家、国、県、市等の関係者が共有しているものです。</p> <p>しかし、三番瀬の再生・保全・利用に関しては様々な意見や考え方があることから、こうした意見等について合意が形成されることが重要です。</p> <p>このため、広報や三番瀬ミーティング等を活用し、様々な意見等の把握に努めながら、条例化についての方向性を検討します。</p>			環境生活部 環境政策課
【事業計画における3か年の目標】 ・条例化についての方向性の検討	予算（千円）	H26 予算	H27 予算	H28 予算	
		—	—		
	決算（千円）	H26 決算	H27 決算	H28 決算	
		—			
	H26 実施結果	<p>・三番瀬の再生・保全・利用について、広報や三番瀬ミーティング等を活用し、情報発信や様々な意見等の把握に努めました。</p>			
今後の予定	<p>・引き続き、広報や三番瀬ミーティング等を活用し、意見等の把握に努めます。</p>				

第10節 再生・保全・利用のための制度及びラムサール条約への登録促進

事業名	事業内容				担当課
2 ラムサール条約への登録促進	計画内容	<p>三番瀬は、ラムサール条約の「国際的に重要な湿地の基準」のうち水鳥等に関する基準を満たしていることが確認されている国際的な価値を有する地域です。</p> <p>また、ラムサール条約が掲げる「賢明な利用」の趣旨は、三番瀬の再生・保全に取り組む上での土台になります。</p> <p>このような国際的な価値を持つ三番瀬が行徳湿地等の関連地とともにラムサール条約に登録されることは、息の長い再生・保全の取組を継続的に進めていくための関係者の合意のシンボルとなるものであり、また、未来の世代につなげるメッセージとしても有効です。</p> <p>このため、地元関係者との合意のもとでのラムサール条約への登録に向けて、地元関係者との調整を進めます。</p>			環境生活部 自然保護課
【事業計画における3か年の目標】 ・三番瀬のラムサール条約への登録について関係者の合意形成	予算（千円）※	H26 予算	H27 予算	H28 予算	
		—	—		
	決算（千円）※	H26 決算	H27 決算	H28 決算	
		—			
	H26 実施結果	・関係市、漁業関係者、環境保護団体と意見交換を行いました。			
今後の予定	・登録に向けて、引き続き関係者と意見交換を行っていきます。				

千葉県三番瀬再生計画（第3次事業計画）【計画期間：平成26～28年度】事業票

第11節 広報

事業名	事業内容				担当課
1 三番瀬に関する広報 (県予算上の事業名：三番瀬ライブカメラ設置・運用事業)	計画内容	<p>三番瀬の再生・保全を進めるためには、地域住民の三番瀬の再生への関心・理解を深めていくことが重要です。</p> <p>このため、インターネット等を活用し、これまでの事業で決定した三番瀬再生標語等を活用しながら親しみやすくわかりやすい広報を行う等、以下について取り組みます。</p> <p>(1) 県ホームページによる、わかりやすい情報発信 (2) 三番瀬関連パンフレットの作成及び配布 (3) 三番瀬再生標語・マスコットキャラクター等の広報への活用</p>			環境生活部 環境政策課
【事業計画における3か年の目標】 ・三番瀬再生・保全のための広報の実施	予算（千円）	H26 予算	H27 予算	H28 予算	
		771	335		
	決算（千円）	H26 決算	H27 決算	H28 決算	
		515			
	H26 実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・県ホームページを随時更新し、各種情報等を発信しました。 ・県民の関心・理解を深めるためにふなばし三番瀬海浜公園に設置した三番瀬ライブカメラについて、適正な維持・管理を実施しました。 ・パンフレットを作成し、エコメッセ in ちば 2014 等で配布するなど、三番瀬の魅力発信しました。 			
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、インターネットなどを活用しながら、県民を惹きつける魅力ある広報を目指し、情報の公開とわかりやすい情報の提供に取り組みます。 				

第12節 東京湾の再生につながる広域的な取組

事業名	事業内容		担当課
<p>1 国、関係自治体の広域的な取組 （県予算上の事業名：東京湾の総量削減対策事業、九都県市首脳会議（水質改善専門部会）対応事業）</p>	<p>計画内容</p>	<p>東京湾では、河川等を通じてもたらされる汚濁負荷による富栄養化などにより、赤潮や青潮が発生するなど、湾全体の問題となっています。</p> <p>このため、東京湾の再生には、汚濁負荷量の削減による流入河川の水質改善をはじめとする様々な対策が必要であり、これまで以上に河川流域や東京湾周辺の自治体と連携し、広域的な取組を行います。</p> <p>(1) 東京湾総量削減計画の推進 一都三県が連携し、水質汚濁防止法に基づき、策定した東京湾総量削減計画により、化学的酸素要求量（COD）、窒素、りん負荷量の削減を進めていきます。</p> <p>(2) 九都県市首脳会議による取組 九都県市首脳会議の水質改善専門部会では、これまで、国の環境関連の法整備にさきがけて、東京湾の富栄養化防止対策等を実施してきたところですが、引き続き、東京湾の必要な水質改善対策に取り組んでいきます。</p> <p>(3) 東京湾岸自治体環境保全会議による取組 東京湾岸自治体（1都2県16市1町6特別区）では、東京湾の水質改善等を図ることを目的に、研修会や湾岸住民への環境保全に係る啓発・イベントなどを実施します。</p> <p>また、東京湾岸自治体を媒体としたネットワークの活用により、広域的な環境保全への取組や水質情報の収集等を行います。</p> <p>(4) 東京湾再生のための行動計画（第二期）との連携 国土交通省等の関係省庁や関係都県市において策定された行動計画に基づき、陸域における汚濁負荷削減策や海域における環境改善対策等を実施します。</p>	<p>環境生活部 環境政策課 水質保全課</p>

事業名	事業内容				担当課	
【事業計画における3か年の目標】 ・三番瀬再生に資する東京湾の再生のための広域的な取組	予算（千円）	H26 予算	H27 予算	H28 予算		
		2,430(再掲)	2,553(再掲含む)	—		
	決算（千円）	H26 決算	H27 決算	H28 決算		
		2,160(再掲)		—		
	H26 実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・第7次東京湾総量削減計画に基づき、化学的酸素要求量（COD）、窒素、りん の負荷量の削減に取り組むとともに、第8次総量削減計画策定に向けて、東京 湾流域の汚濁負荷等の検討を行いました。 ・九都県市首脳会議の水質改善専門部会において、ワーキンググループ会議を 4回、部会を2回開催し、「平成25年度東京湾底質結果報告書」を取りまとめ、 東京湾の富栄養化対策・底質改善対策についての検討等を行いました。 ・東京湾岸自治体環境保全会議では、各自治体が実施した水質調査結果に基づ き、「平成25年度東京湾水質調査報告書」を取りまとめ、下水道整備や生活排 水対策の諸施策など水質浄化対策の推進について、国へ要請を行いました。 ・東京湾再生会議、九都県市、東京湾岸自治体環境保全会議が協働して「東京 湾環境一斉調査」を行い、流域住民の東京湾再生への関心を喚起しました。 				
	今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの取組を継続し、関係自治体、地域住民等との交流・連携を深め、 東京湾及び三番瀬の再生につながる広域的な取組を推進します。 				